No.243

坂東地域アグリ通信

HP は こちら

令和８年10月6日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel ：0297-34-2134 Fax：0297-34-3291

農場見学＆就農相談会in県西を開催しました

令和８年７月18日（土）に「農場見学＆就農相談会in県西」を開催しました。本イベントは、農場見学や農業経営者との交流を通じて、農業の魅力を体感し、就農への意欲を高めることを目的に、県と茨城県農林振興公社の主催により、県内各地で開催しています。本年度の第1回は県西地区で開催し、17名が参加しました。

午前は、境町の大規模普通作法人（株）光ファームにて、農場見学を行いました。整然と機械が格納されている倉庫や、床に物を極力置かないことで作業性を高めた作業場を見学したほか、GAPや人事評価制度の取り組みについて説明していただきました。 午後の就農相談会は古河市のとねミドリ館で行い、求人募集をしている坂東管内の５経営体と県西３地域の就農支援協議会が出展するなか、参加者は全てのブースを回り、熱心に就農相談を行いました。参加者からは「就農相談会では、直接、農業経営者の生の声を聞くことができ参考になった」等の声が聞かれました。

普及センターでは、今後も関係機関と連携し、新規就農者の確保育成と地域農業の振興に努めてまいります。



農場見学会の様子



就農相談会の様子

坂東地域アグリセミナー第２回「先進事例研修」・第３回「病害虫診断講座」を開催しました

令和８年７月21日（火）に坂東地域アグリセミナー第２回「県西広域講座：先進事例研修」を開催し、県西地域の新規就農者17名が参加しました。普及センターからネギの特性や生育条件をはじめ品種選定から収穫までの一連の栽培管理について講義を行いました。

また、坂東市でネギを栽培している青年農業士を講師に迎え、講話及び現地研修を実施しました。講話ではネギの安定生産に向けた栽培管理のポイントに加え、経営分析に基づく経営改善の取り組みについて説明いただきました。

その後、現地ほ場及び作業場に移動し、ネギの栽培管理や出荷調製作業の様子を見学し、実際の作業内容や管理上のポイントについて理解を深めました。参加者からは、「土寄せの回数」などの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



現地研修の様子



病害虫診断の様子

令和８年８月25日（火）に坂東地域アグリセミナー第３回「病害虫診断講座」を開催し、地域の農業者10名が参加しました。普及センターから病原菌や害虫などの種類や病害虫被害に対する対策方法についての講義を行いました。

その後、実物を用いて病害虫を診断するグループ実習を行いました。受講生は、得意な品目以外でも図鑑やインターネットを活用しながら診断を行うことができました。受講生からは「実際の診断ができて楽しかった」や「実物を見られてためになった」などの感想が寄せられました。

今後も普及センターでは、アグリセミナーを通して新規就農者の栽培技術の向上を支援していきます。

ドローン直播現地検討会を開催しました

令和８年8月26日（水）に坂東市において、省力化技術として注目される種子処理技術（リゾケアXL）を活用した水稲ドローン直播現地検討会を開催し、生産者および関係機関を含め約３０名が出席しました。

当日は、普及センターより本実証ほの栽培経過、苗立ち率や初期生育調査の結果を報告したほか、メーカー担当者から処理種子の特性や県内外での取組事例、栽培管理のポイントについて説明が行われました。

その後のほ場見学では、実際の生育状況を確認しながら、導入費用や管理上の注意点など活発な質疑応答が行われ、技術導入に向けた有意義な意見交換の場となりました。

普及センターでは、今後も新技術のメリットと課題の双方を多角的に検証しながら、スマート農機等を活用した効率的な営農体系の確立に向けて支援していきます。



現地検討会の様子



ほ場見学の様子

坂東市４Hクラブがアフリカの農業普及員と交流しました

令和８年７月１日（水）、坂東市４Hクラブは独立行政法人国際協力機構（JICA）のアフリカ地域の農業普及員の現地研修を受け入れました。同クラブは数年前から研修の受け入れを行っています。今回は、アフリカ９ヶ国から11名の研修員が参加し、クラブ員５名で対応しました。

まず、クラブ員の深根ネギ栽培ほ場及び作業場にて、栽培概要や栽培方法、出荷調製の工程等の説明をしました。研修員は見慣れないネギや機械に興味を示し、ネギの定植時のポイントや収穫・調整など技術的な質問が多く挙がりました。

その後、４Hクラブなど青年農業者の組織活動を紹介し、意見交換を行いました。研修員からは４Hクラブの活動内容について、クラブ員からは、各国の食文化や農産物に関する質問がそれぞれ寄せられ、お互いにとって貴重な交流の機会となりました。

普及センターでは、今後も関係機関等と連携して、青年農業者の資質向上に向けて活動を支援していきます。

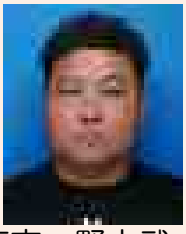


現地研修の様子

令和８年度茨城県農業経営士等認定式及び令和７年度退任式

令和８年７月３日（金）水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館において、農業経営士等の認定式・退任式が開催され、管内では新たに農業経営士２名が認定されました。また、３名の農業経営士、１名の女性農業士、３名の青年農業士が退任されました。７名の方々には、長い間、坂東地域の農業の振興や発展にご尽力をいただき、ありがとうございました。普及センターでは、今後も農業経営士等の方々の協力を得ながら、地域農業の発展を進めていきます。

新任農業経営士



坂東市　野本武一さん
（露地野菜経営）



境町　高橋大希さん
（普通作経営）

これからよろしくお願いいたします。

退任農業経営士

坂東市
染野　実さん　飯塚　利幸さん、細野　一浩さん

退任女性農業士

坂東市
真中　ひろみさん

退任青年農業士

古河市
山根　聡さん、鈴木　陽大さん
髙橋　忠浩さん

長い間、ご尽力いただき、ありがとうございました。

10月の土壌診断実施日のお知らせ

10月は、14日（水）、28日（水）
11月は、11日（水）、25日（水）

- 個人の農家の方が対象です。
- １回の診断で５０点までの分析となります。超えた場合には次回の診断となります。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での予約は行っておりません。
- １人あたり５点以内の持ち込みでお願いします。
- 土は乾燥させてから、持ち込みをお願いします。

編集後記

今年は、台風や秋雨前線の影響により、東京で連続降雨日数が統計開始以来の最長記録を更新しました。

日照不足や大雨等の影響で、定植や収穫の遅れが発生しており、今後、農作物への影響が懸念されます。

最近、「多雨疲労」という言葉を耳にしました。雨の日や湿度の高い時期に、心身のだるさや疲れやすさを感じることを指すようです。

人も農作物も、これらに対応するために「管理」が重要だと感じました。これから晴れの日が続くことを願っています。（清水）